

各 位

長野県柔道連盟

会長 木内 義雄

長野県中信柔道連盟

会長 津金 武寿

第24回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会

開催ご案内

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
標記大会を下記の通り開催いたします。併せて要項が決定いたしましたので、ご案内申し上げます。
大会事務局としては、エントリーしていただくすべての選手に、出場していただきたいと考えておりますので、奮ってのご参加をお待ちしています。

柔道ながの(長野県柔道連盟HP)にて、<http://judo-nagano.net/>

申込みフォーム(令和元年8月1日(木)HP掲載)をダウンロードして(Excel ファイルにて)申し込むこと。

E-mail : recept2019_daigo@yahoo.co.jp へ添付ファイルとして送付すること。

★注意 ファイル名は、県名・団体名 <〇〇県・〇〇道場>とすること。
参加費振込みの場合は道場名とする。 <〇〇道場>

申込み期間:令和元年8月17日(土)～令和元年8月31日(土)とする。

※申込み日以降の申込みは不可

※申込み返信メールについては、自動配信ではありません。

送付後、土日・祝日を除いて、2～3日後までに、返信メールが届かない場合は、問い合わせサイトに確認メールを送付してください。

※ 前日の練習試合会場使用に関しまして、開会式に出席していただいた団体のみとなります。
(練習試合参加申し込みをしていただいても、開会式不参加の選手は入場できません!)

記

1 期 日 令和元年11月23日(土)

午後1時 開会式

午後2時～4時 会場開放(練習会場として)

午後2時 監督会議

午後4時 解散 時間厳守!!

令和元年11月24日(日)

午前7時30分 審判会議

午前9時 試合開始

2 場 所 松本市総合体育館

松本市美須々5-1 (0263)32-1818

第24回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会要項

1. 目的 次代を担う少年に正しい柔道を身につけさせ、異なる地域や多くの強豪選手との試合を通し、本大会を励みとして益々積極的に柔道の習得に努め、心身の健全な発達及び競技力の向上並びに相互の親睦を図り、柔道界の普及、振興を目的とする。
2. 主催 長野県柔道連盟・長野県中信柔道連盟
3. 共催 (公社) 長野県柔道整復師会・長野県柔道整復師会中信支部・学校法人光和学園信州医療福祉専門学校
4. 主管 長野県中信柔道連盟
5. 後援 長野県・松本市・長野県教育委員会・(公財) 長野県体育協会・松本市教育委員会・(一財) 松本体育協会
6. 特別協賛 JTB(中部) 松本支店
7. 協賛 ベースボールマガジン社「近代柔道」・スポーツニッポン新聞長野支社・信濃毎日新聞社・松本商工会議所
(一般社) 松本観光コンベンション協会・(株)東洋マーシャルアーツディストリビューション(順不同)
8. 日時 令和元年11月23日(土) 受付 午前10時～、開会式午後1時・練習試合午後2時～4時
令和元年11月24日(日) 午前9時 トーナメント開始 会場開館時間午前6時30分
9. 会場 松本市総合体育館(松本市美須々5-1 TEL0263-32-1818)
10. 種目 団体戦: 小学生低学年の部(1年生・2年生) 小学生中学年の部(3年生・4年生)
小学生高学年の部(5年生・6年生)・中学生男子の部・中学生女子の部
11. 参加資格 (1) 対象は小・中学生とし、現に各加盟団体の小・中学校に在学している者であって、「学校」「柔道場」「クラブ」「スポーツ少年団」「分団」単位とする。
※同一団体の複数チームの出場は認める。その場合は、チーム名の最後に順番にアルファベットを割り当てる(醍醐道場A・醍醐道場B・醍醐道場C・醍醐道場D)など複数チームの出場を認める。
※単一団体のチームを編成できない場合は、合同チームで出場できる。ただし第22回醍醐敏郎杯全国少年柔道大会では、長野県内の団体のみとする。(合同チームの規定については、最終注:1を参照)
(2) 選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い保護者並びに団体の承認を得ること。
出場チームは、指導者が必ず監督として引率すること。
(3) 勝敗にこだわり、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合は、そのチームを失格とし、

今後の本大会への出場を認めない。

- (4) 監督、チームとも当該年度全日本柔道連盟に登録済みであること。
出場する選手は、出場するチームを通じて競技者登録をしていること。
(未登録チームは出場できないので、速やかに所属連盟に登録手続きを行うこと。)
- (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において、必ず確認すること。感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場できない場合もある。

12. 構成

- (1) チームの編成は学校、分団または道場単位とし、混成チームの出場は認めない。

※第24回醍醐敏郎杯全国少年柔道大会では、長野県内の団体には、合同チームを認める。注1

- (2) チームは、小学生低学年の部(1年生・2年生)・小学生中学年の部(3年生・4年生)3人編成とする。

小学生高学年の部(5年生・6年生)は5人編成とする。

中学生男子の部は5人編成とし、中学生女子の部は3人編成とする。なお、危険防止のため下記

(ア)(イ)(ウ)のとおりとする。

- (ア) 各カテゴリーに関わらず、すべて体重の軽い順とする。

☆注意 小学生低学年の部(1年生・2年生)で未就学児の出場は不可。(危険防止のため)

各カテゴリーを超えての出場は不可。(危険防止のため)

(※申し込みに誤りのある場合、事務局にて訂正する場合がある。)

- (イ) 人数が満たない場合は、すべて後ろ詰めで編成する。

- (ウ) 各カテゴリーに関わらず、大会の規模、体力面、柔道の習熟度を考慮し、柔道修行開始6ヶ月未満の出場は認めない。なお、各団体の責任において、順守する事とする。

13. 申し込み

- (1) 柔道ながの(長野県柔道連盟HP)にて、<http://judo-nagano.net/>

申込みフォーム(令和元年8月1日HP掲載)をダウンロードして(Excelファイルにて)申し込むこと。

※今年から申込・問合せメールアドレスが変わりました。

E-mail :recept2019_daigo@yahoo. co. jp へ添付ファイルとして送付すること。

☆注意 ファイル名は、県名・団体名 <〇〇県・〇〇道場>とすること。

参加費振込みの場合は道場名とする。 <〇〇道場>

申込み期間:令和元年8月17日(土)~令和元年8月31日(土)とする。

※締切日以降の申込みは不可

※申込み返信メールについては、自動配信ではありません。

送付後、土日・祝日を除いて、2~3日後までに、返信メールが届かない場合は、問い合わせメールに確認メールを送付してください。

(2) 組み合わせは大会事務局において行う。

村山整骨院内 醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会事務局

TEL 0263-58-1156

申込以外の問合せメールアドレス

E-mail : daigo_info2019@yahoo. co. jp

※全国大会上位入賞団体は申込フォーム（団体情報シート下部）にその旨記入すること。

14. 選手変更 (1) 申し込み後の選手変更は、下記のとおりとする。

(ア) 選手変更は、変更後のオーダーが上記12. 構成(2)に沿うように組むこと。

また、チーム間での変更は不可能とする。

(イ) 一次締切日：令和元年 8月31日(土) 大会プログラム掲載のため。

(ロ) 会場受付：令和元年11月23日(土) 午前10時～午後3時(選手変更のため)

：令和元年11月24日(日) 午前7時～午前8時(選手変更のため)

15. 試合方法

(1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会特別規定、本大会申し合わせ事項に基づき行うものとする。

(2) 試合はトーナメント戦で行い、試合時間は小学生2分、中学生3分としロスタイムの使用は準決勝以上からとする。

(3) 試合の勝敗は1チーム5名(小学生高学年・中学生男子)又は3名(小学生低学年・小学生中学年・中学生女子)の対勝負戦とし同点の場合は一回の代表戦により勝敗を決する。

(4) チームの勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) チーム間における勝ち数の多い方。

(イ) アにおいて同等の場合には内容によって決定する。

(ウ) イにおいて同等の場合には代表戦によって決定する。

※勝負の判定は「一本」「技有」「僅差」の3種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が「2」以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。「1」差であれば「引き分け」とする。

例：「指導」数によって勝敗が決する例＝0対2

「指導」数に差が出ても引き分けになる例＝0対1、1対2

(5) 代表戦は、「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で決定し、試合をする。

代表戦はゴールデンスコア方式で行うが、通常通りの試合時間(小学生2分・中学生3分)は設ける。

時間内に優劣がつかない場合には僅差判定(旗判定)により勝敗を決する。

(6) 3位決定戦は行わない。

(7) 試合場の間が正規の間隔ではない為、「待て」を早めにかける。また、寝技の攻防や抑え込みが隣接する試合場で行われていたら、寝技を優先する。

16. ゼッケン ゼッケンを下記要領により選手の柔道着に付けること。

(1) 布地は白色。(晒 太綾)

(2) サイズは横30cm～35cm 縦25cm～30cm

(3) 名字(姓)は上側2/3 所属名は下側1/3(横書きであること)

なお、同姓がチームにいる場合は、名前の最初の一字をいれる等し、選手の区別がつくようにする。

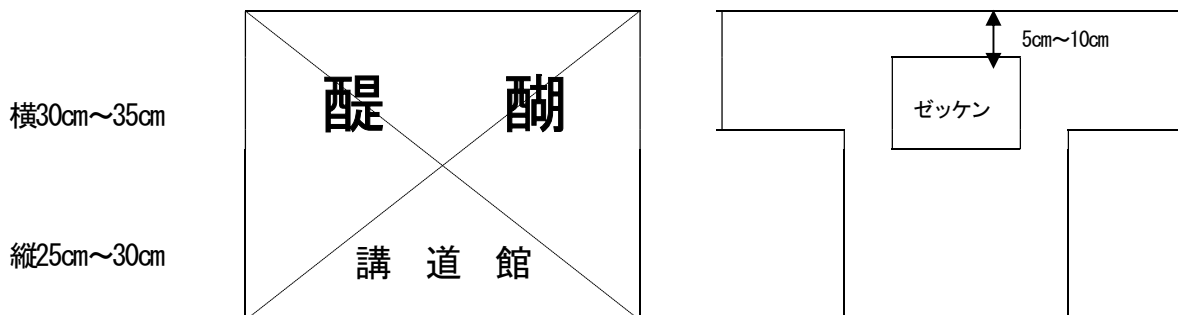
(4) 書体は太いゴシック、明朝(楷書 毛筆体を含む)

男子は黒色、女子は濃い赤色。

(5) 縫付けの場所は後ろ襟から5cm～10cm下部に位置する場所に縫い付け、途中で外れることのないよう、対角線にも強い糸でしっかり縫い付けること。

(6) ゼッケンを縫い付けていない選手は出場できない。

各チームごとに、ゼッケンの所属団体名の統一のこと。胸マークについて条件はありません。



17. 表彰 第1位から第3位まで表彰する。(各階級1位の醍醐杯は持ち回りとする)

18. その他 (1) 参加する選手の競技中・練習中の怪我・疾病等について、医師にかかる経費及びその後の責任について主催者側は一切負わないものとする。

(参加者全員が各自傷害保険に加入することをおすすめします。健康保険証を持参のこと。)

(2) 諸会議等

(ア) 審判会議 令和元年11月24日(日)午前7時30分～ 松本市総合体育館大会議室

(イ) 監督会議 令和元年11月23日(土)午後2時～ 松本市総合体育館大会議室

(監督会議に欠席の団体は、監督会議の内容を了承したものとする)

(3) 宿泊、弁当は、別紙にて申し込みをすること。

19. 会場開館時間 令和元年11月24日(日) 松本市総合体育館 会館時間は午前6時30分を予定しています。

※脳震盪について

- ・大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ・大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)
- ・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ・当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

※お願い

本大会は、身体的にも精神的にも発達途上の小学校児童を含む選手の大会であることを常に念頭におかれて、特に危険防止について考慮されたい。また、礼法を正しく行わせることはもとより、姿勢組み方についてもご配慮・ご指導をお願いしたい。

【付 記】

監督・コーチの役割

1. 監督・コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
2. 監督・コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

監督・コーチの場所

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、監督又はコーチ1名のみ入ることが許され、用意された椅子に着席しなければならない。

監督・コーチの言動

1. 試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
2. 次の行為を禁止する。
 - (ア) 試合が続行している最中に指示を出すこと。また、試合中に立ち上がること。
 - (イ) 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
 - (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するよう行為。
 - (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。

(オ) その他、柔道精神に反する行為。

3. 原則として、監督・コーチは審判員に準じた服装とし、全日本柔道連盟登録者とする。
4. 監督・コーチは、大会事務局から配布する ID を付けるものとする。(参加チーム数によって配布)

罰則

上記に違反した場合は、下記による処分を科すものとする。

1. 1回目は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
2. 1回目の注意で改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで試合場フロアの外へ退去させる。但し、試合はその後も続行するものとする。
3. 次の試合からは、また監督・コーチ席に座ることができるが、その後も改善が見られない場合は、醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会では、試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

以上

※注1

第 24 回醍醐敏郎杯全国少年柔道大会では、多くの選手に出場の機会を与えるために、単一団体にチームが組めないことから出場を取りやめてしまう団体を救済することを目的として、長野県内の団体に限り、合同チームでの参加を認める。
ただし、県内四地区内(北信・南信・中信・東信)の同地区内の二団体の合同チームとする。

令和元年 8 月吉日

各 位

醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会

事 務 局

(連絡)

申し込み手順について

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、第 24 回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会の申し込みにあたり、事務局より大切なお知らせです。

柔道ながの(長野県柔道連盟HP)にて、<http://judo-nagano.net/>

申込みフォーム(令和元年 8 月 1 日(木)HP 掲載)をダウンロードして(Excel ファイルにて)申し込むこと。

E-mail :recept2019_daigo@yahoo.co.jp へ添付ファイルとして送付すること。

☆注意 ファイル名は、県名・団体名 <〇〇県・〇〇道場>とすること

参加費振込みの場合は道場名とする。 <〇〇道場>

※要 注 意

申込み期間:令和元年 8 月 1 7 日(土)～令和元年 8 月 3 1 日(土)とする。

申込み締切日以降の申込みは不可

※申込み返信メールについては、自動配信ではありません。

送付後、土日・祝日を除いて、2～3 日後までに、返信メールが届かない場合は、

問い合わせサイトに確認メールを送付してください。

どうか、醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会を皆様の協力で盛会に開催されますように、ご協力をお願いいたします。

各 位

第 24 回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会

練習試合参加申し込み

醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会では、大会前日、開会式終了後、午後 2 時から午後 4 時まで試合会場を練習試合会場として開放いたします。

例年多数のチームが参加していただいておりますが、練習会場が狭いため怪我などのトラブルが多発しており、大会事務局としても参加申し込みをしていただいで、参加状況を把握したいと思っております。参加人数や、学年など制限はありません。補欠の選手も参加していただいてもかまいません。

申し込みにより会場の割り振りを大会事務局でしたいと考えますので、ご承知ください。

参 加 団 体 名	
小学生低学年	人
小学生中学年	人
小学生高学年	人
中学生男子	人
中学生女子	人
	合計
	人

注意 練習試合会場使用に関しまして、開会式に出席していただいた団体のみとなります。
(練習試合参加申し込みをしていただいても、開会式不参加の選手は入場できません!)

※練習試合会場には、全員が柔道着着用で、監督・コーチ・選手以外は入れません
※参加する選手の競技中・練習中の怪我・疾病等について、医師にかかる経費及びその後の責任において主催者側は一切負わないものといたします。
(参加者全員が各自傷害保険に加入することをおすすめします。健康保険証を持参のこと)

令和元年 8 月吉日

各 位

醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会
事 務 局

大会事務局より大切な連絡です
第 24 回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会合同チームの参加について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、大会事務局では、長野県内の選手に限り、標記大会の合同チームの参加を認めます。

参加申込書の記入例を下記の通りといたします。

大会申込書フォーム

団体名	長野道場・松本道場	都道府県	長野県
-----	-----------	------	-----

第 24 回醍醐敏郎杯全国少年柔道大会では、多くの選手に出場の機会を与えるために、単一団体でチームが組めないことから出場を取りやめてしまう団体を救済することを目的として、長野県内の団体に限り、合同チームでの参加を認める特例措置ですので、ご承知ください。

また、第 24 回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会では、各団体の出場チーム数の上限を 4 チームまでといたします。多くの選手に、全国大会の雰囲気を経験していただきたいと思えます。

Web での申込フォームは 4 チームまで対応しています。